

上矢作小学校だより

【学校の教育目標】たくましく すこやかな 上矢作の子

大船山

第 12 号
令和 4 年 10 月 14 日

ホームページ <http://www.ena-gif.ed.jp/kamiyahagi-e/>

学校外に自分の声を発信する機会をいただきました

校長 細江 幸次

9月28日(水)の午後より、ぎふチャンのラジオ番組「僕の時間・私の時間」の収録を行いました。1学期のうちに全校を対象に参加者を募り、18名の上矢作っ子が名乗りを上げてくれました。3分間という短い放送時間に必要な発表原稿の量は400字詰め原稿用紙1枚半～2枚程度となり、その中に自分の伝えたいことを簡潔にまとめ、ラジオの向こう側にいるリスナーにわかるようにするには結構難しい取組だと思えます。実際、執筆をした子どもたちの作文を事前に読ませていただきましたが、いろいろと制限のある中で文章を書くことに悪戦苦闘している感じがよく伝わってきました。しかし、文章を書くという作業は、自分のそれまでの生活や言動を振り返る学び直しの機会にもなり、読み手に自分の思いがより伝わるように言葉選びや表現の仕方に立ち止まる機会にもなります。そして、口から発した言葉とは違って、書いたものは形として残るので、自分の言葉に責任をもつということにもつながっていきます。今回のラジオ番組の参加によって、そのようなよい機会をいただいたと感じています。

この10年余のICTの目を見張るような普及・発達により、SNS等を用いて自分の言葉を発信することが容易になってきました。また、自分に近い人だけではなく、全く知らない遠隔の人たちや場合によっては海外の人たちにも簡単に自分の言葉を届けられるようになってきています。それと同時に匿名性も高くなり、軽い気持ちで上げた情報が他者への誹謗中傷や差別発言などにつながる場合も少なくはないようです。また、LINEなどを使って連絡を取り合ったり、意見を求めたりすることも手軽にできるようになってきていますが、その書きぶりの多くは口語調であり、主語や述語が判然としない仲間内だけで通じるものが多い印象をもっています。そのためか、改まって文を書こうとしても口語と文語が混在するものであったり、主述がはっきりしなかったり、ずれていた文が目立ってきて、全体として若い世代を中心とする人たちの文章力は随分落ちてきているのではないかなという印象があります。

もう3年になろうとするコロナ禍において、学校にも1人1台のタブレットが整備され、小学生の子どもたちでも手軽に個々がオリジナルの情報(文章や画像)を発信できるようになってきました。その一方で書き方・書写

の時間で指導するような一画一画を大切に、止め、はね、払いにも十分注意を払って形の整った文字を書くことやノートや原稿用紙に向かって、じっくりと考え、文章を書く時間はこれまで以上に大切にしていかなければなりません。ひとつの活動に、子どもたちに付けたい力をあれもこれもと、多くを求めることは非常に難しいことです。むしろ、タブレットに向かっては速くたくさん問題に取り組むこと、ノートに向かっては、じっくりと考え、丁寧に仕上げること等、ひとつひとつの活動の目的を明確にして取り組むことが重要になってきます。



番組収録の様子

Topic

■運動会フォト・ギャラリー

今年度もたくさんの運動会写真のデータが集まりました。どの写真にも上矢作っ子の競技・演技に懸命に取り組んでいる表情や笑顔が溢れています。保護者や地域の皆様に見ていただく機会を設けることができないのが残念です。そのほんの一部ではありますが、この場を借りて紹介させていただきます。



徒競走（1年）



徒競走（5年）



デカパンリレー（低学年）



追いかけて玉入れ（高学年）



キッズ・ソーラン（1～3年）



すいかリレー（中学年）



上矢作ジャンプ（4～6年）



ハリケーンリレー（全校）

■スピーチ集会

上矢作小学校では人前で話す力を培う活動のひとつとして、月1回のスピーチ集会が位置付けられています。毎回3名程度の上矢作っ子が、月々の決められたテーマに沿った内容でスピーチ原稿を準備して本番に臨んでいます。

9月は4～6年生の代表がタブレットを用いながら堂々としてスピーチ発表をしました。発表後は聞き手となっている上矢作っ子がスピーチについて感想を述べたり、質問をしたりするなど、より深く、正しく話す・聞く力を高めるようにしています。

上矢作っ子の活躍

＊ 第41回火災予防ポスター展 恵那ロータリークラブ会長賞 6年 川上琴巳
岩村消防署長賞 2年 飯島颯月

お知らせ

本号表面で紹介させていただいた、ぎふチャン「僕の時間・私の時間」では上矢作小学校の児童18人の作文が11月10日(木)～12月5日(月)17時35分(土、日を除く)より、毎回1人ずつ放送されます。ぜひ、お聴きください。放送日には岐阜新聞のラジオ番組欄に名前と顔写真が掲載されます。



スピーチ集会
話し手から見た風景